

説明文

1 この雨水出水浸水想定区域は、想定最大規模降雨(概ね1000年に1度の豪雨:153mm/時間)の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さをシミュレーションにより算定し表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。

2 このシミュレーションは下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。

3 「長時間にわたり浸水するおそれのある区域」は「浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する可能性がある区域」を示しており、国土地理院の標高データを基に周辺の区域と比較して地表面の標高が低地になっている箇所を抽出しています。

4 このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。

5 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

6 下水道計画区域以外の区域は、雨水出水浸水想定区域の対象範囲外となっています。

基本事項等

1 作成主体: 諫早市

2 指定年月日: 令和8年1月27日

3 告示番号: 諫早市告示第7号

4 指定の根拠法令: 水防法第14条の2第2項(昭和24年法律第193号)

5 指定の前提となる降雨: 流域全体にピーク時の1時間に153mmの降雨がある場合で、概ね1000年に1度程度の降雨

6 浸水想定手法: 浸水シミュレーション手法(降雨損失・氾濫解析のみを実施(下水道等の排水能力は一定で考慮))、地形情報を活用(下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量浸水するものとした)

7 境界条件: 河川の水位上昇は考慮していない

8 その他計算条件等: 対象区域を概ね100mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

諫早市 雨水出水浸水想定区域図

